

タテジマイソギンチャク

【見られた地点：①・②・③・④】

体の直径 1cm 前後の小型のイソギンチャクです。体表には、黄色からオレンジ色の縦縞のあるものが多いですが、そのような縦縞のないものもあります。生息場所は少し淡水の影響を受ける内湾の岩礁や岸壁の潮間帯中部から下部です。



イソギンチャク目

【見られた地点：①・②・③・④】

岩や壁面などに付着しているものや、海底に体が埋まっているものなどがあります。着底生活を送りますが、移動することも知られています。



【軟体動物】 貝類、イカ、タコなどの仲間です。体には骨格がなく、粘膜で覆われています。

コシダカガンガラ

【見られた地点：②・③】

殻は低平な円錐形ですがごつごつしています。やや内湾的環境の潮間帯から潮下帯の転石帯に生息していて、干潮時は岩の隙間に隠れています。



アカニシ

【見られた地点：①・②・③・④】

内湾の水深 10～20m の砂泥に多くすんでいて、ほかの貝を食べます。殻口内は赤く、肉は食用となります。殻高 15cm、殻径 12cm、北海道以南に分布しています。



レイシガイ

【見られた地点：①・②・③・④】

殻高 5cm 程度の巻貝で、こぶ状のイボが並びます。初夏に集団で密集して産卵する様子が見られます。北海道南部、男鹿半島以南に分布します。



クロシタナシウミウシ

【見られた地点：①・②・③・④】

体長 3cm。体はとても柔らかく、背面、腹面とも黒色です。周縁部は波打ち、黄褐色で、触角の先端も黄みがかっています。日本および世界各地に分布しています。



カノコキセワタ

【見られた地点：③・④】

太平洋北西部に分布し、泥質のやや多い砂地に生息しています。体地色は黒色または暗褐色で全体に灰白色の微細なまだら模様があります。ウミウシの仲間です。

